



ヴォーリスだより



- 特集 -
ヴォーリス記念病院「出前講座」ご案内

(撮影) ヴォーリス記念病院
災害・避難訓練の様子

巻頭言

「介護人材不足と診療報酬改定
について」

公益財団法人 近江兄弟社
ヴォーリス記念病院
診療技術部長 酒井 英志



Vol. 170

2024年9月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。
- 私たちは、基本理念を大切にします。 -



「介護人材不足と診療報酬改定について」



診療技術部長 酒井 英志

先日、厚生労働省より第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数が公表されました。2024年度から2026年度を対象とする第9期介護保険事業計画をベースに「将来、必要となる介護人材」の数を推計すると、2026年度には約240万人、2040年度には約272万人が必要であると発表されました。また、2026年度には約25万人、2040年度には約57万人の介護人材が不足すると予想されております。この人材不足数を解消するには、年間6万3000人増のペースで介護人材を確保していかなければならないようです。

国も、①介護職員の処遇改善、②多様な人材の確保・育成、③離職防止・定着促進・生産性向上、④介護職の魅力向上、⑤外国人材の受け入れ環境整備など、総合的な介護人材確保対策に取り組んでおりますが、大きな有効性は見られていない印象です。人口そのものが減少している状況で、高齢者の割合は増え、足りないものは増やせばいいという発想や、業務を見直せば物事は改善するという考えは見直した方が良くと考えてしまいます。介護人材の確保は重要であります。他の産業も同じように人材不足であり、人材の奪い合いが起こることは必至です。やはり、人材確保だけでなく、介護を要する高齢者を減らすという考えも同時に必要となってきます。

さて、話は変わりますが、今年の6月には診療報酬改定が施行されました。今回の改定のポイントのひとつに、回復期リハビリテーション病棟の運動器疾患（骨折など）に対するリハビリテーションが、1日6単位（＝2時間）までに制限を受けることになったことが挙げられます。回復期リハビリテーション病棟に入院中の運動器疾患は、今まで最大1日9単位（＝3時間）のリハビリテーションが提供され、患者の機能強化・改善等が図られてきました。しかし、上述のように1日6単位では、十分な量のリハビリテーションが受けられず、機能改善が必ずしも十分に図られないケースが出ることも考えられます。

ヴォーリズ記念病院ではケガや病気によって日常生活が困難となった方々に対して、あらゆる手段を用いて少しでも医療や介護を必要としないようにサービスに取り組んでおります。今回のようにサービス量そのものを削減されるような改定は、介護を要する方を増やすことになり、結果的に介護人材不足を加速させるのではないかと懸念いたします。日本慢性期医療協会の橋本会長は「1%、つまり100人に1人、寝たきりを防止できれば、現在の介護職員数で将来の医療・介護ニーズを賄うことができる計算となる。『100人に2人、3人』と寝たきり防止人数を増やしていけば、減少していく現役世代人口でも、将来の医療・介護ニーズを十分に賄うことができ、将来に光が見えてくる」と訴えておられます。

私は第二次ベビーブームと呼ばれる団塊ジュニア世代です。まさに私の年代がこの2040年問題に直面いたします。予測可能な社会問題でもありますが、なかなか難しい課題です。

チャプレンだより③ 「祈りの部屋」のご紹介

チャプレン 中村信雄

祈りの部屋

当院のチャペルには、祈りの部屋があります。こころを静めたいとき、ご自由に祈りの部屋でお過ごしください。今回は祈りの部屋に設置しています、①「祈りのリクエスト」について、②月毎に変わる職員のお祈りについて紹介したいと思います。

① 「祈りのリクエスト」

私たちの人生には、先の見えない日々を生きざるを得ないこともあります。病を抱えたり、不安な気持ちを抱えたり。「このために祈ってほしい」という願いがございましたら、【祈りのリクエスト】を書いて、室内に設置した木箱（写真：右）に投函してください。チャプレンがお祈りいたします。

用紙は机上に用意しておりますが、お手元の用紙でも結構です。入院・通院されている方々、ご家族、そして職員の誰でもご利用くだされば幸いです。



② 看護師の祈り

暑い毎日が続いています。信愛館の皆様をはじめ、ご高齢の方や、体力が弱っている方、幼い子ども達が、水分を十分にとり休息をとり、熱中症や病気に罹りませんように。

ヴォーリス医療・保健・福祉の里のスタッフが互いに思いやり、心を一つにして、隣人愛を持って、患者様、利用者様、家族様に、心を寄せて、ケアを提供できますように。

里のスタッフみんなの心や体が健やかでありますように。みんなが笑顔で暑い日々を乗り切ることができるようになりますように。



みんなでつくる 花火におがいを

事務長 澤谷 久枝

2024年5月26日 近江八幡市文化会館にて、ドキュメンタリー映画「明日香に生きる」の上映と「地域医療のいまと明日を考える」と題したフォーラムを開催しました。

150名の方々にご来場いただきました。

関連事業として、アートユニット「フォーレ エ ソレイユ」さまのご協力で、「願いは願うことで叶う」という言葉からインスピレーションを受けて、ご参加下さった方と共に近江の麻布で願いの花火を咲かせることができました。※写真をご覧ください。

さまざまな立場の人々が「いのち」と向き合う姿を追い続ける溝淵正幸監督の映画は、2013年ヴォーリス記念病院が舞台になった「いのちがいちばん輝く日 あるホスピス病棟の四十日」に始まり、同じ当院で撮影が行われた「近江ミッション」の公開が、5作目として、2024年晩秋に予定されています。乞うご期待ください。

さて、願いの花火麻布は、当病院の一階、検査待合コーナーの奥に展示しております。



特集

ヴォーリス記念病院「出前講座」ご案内

- ・病気のこと、健康維持の方法など詳しく知りたい・・・
- ・医療や健康についての話を聞く機会がない・・・
- ・地域の人たちとの交流の場で何か無いかなあ・・・



ヴォーリス記念病院に「**聞きたいこと・知りたいこと**」を教えてください。私達、医療スタッフが、皆様の地域にお伺いします。地域の皆さまの健康保持増進や疾病予防などのお役に立てればと願っております。ぜひご利用ください！

＜講座の内容 例＞

- **病気や治療**について
(生活習慣病、認知症など)
- **健康生活**について
(運動、食事、薬の知識など)
- **在宅医療**について
- **終末医療、ホスピス**について
- **フレイル予防**について

…など

* *ご希望に合わせて
内容はご相談に応じます* *



＜対象＞ 近江八幡市内の地域住民による団体・グループ、学校など
(※職場研修は実施しておりません。)

＜費用＞ **無料**

＜開催日時＞ 日、祝日を除く、9：00～17：00

＜申込み方法＞ **企画渉外課**

希望日の2か月前までに、お電話にてご相談下さい。

TEL : 080-9590-5725 (直通)

※詳細はホームページでもご覧になれます。

皆様のご意見

(アンケートより)

- ・継続は力なりと思って100歳を目標に頑張ります。
- ・具体的に話して頂いて理解できました。またこういった機会を催して頂きたいです。
- ・まだ他人事だと思っていましたが、考える良い機会になりました。
- ・これを機会に運動を心がけたいと思います。
- ・普段の生活に大変参考になったと思います。
- ・心が少し安らくなった気がしました。
- ・早期検診で楽しい生活を送りたいです。
- ・薬を服用していますので、食事、カロリー等など参考になりました。
- ・自分自身の生活を見直す良い機会になりました。
- ・大変分かりやすく良い運動になりました。

出前講座の会場に当院チャペルをご利用頂けるようになりました!

お気軽にご相談下さい。



「コレステロールと中性脂肪(トリグリセライド)」について

循環器内科 三ツ浪 健一

コレステロールは脂質の一種で、体内では、飽和脂肪酸やトランス脂肪酸などを材料にして肝臓で合成されたものが70～80%、食事から取り入れたものが20～30%を占めます。コレステロールなどの脂質はそのままでは血液になじまないため、蛋白質に覆われた「リポ蛋白」という形で血液中を運ばれています。物質としては全く同じコレステロールでも、LDLというリポ蛋白に含まれると、LDLが酸化・変性して血管壁の内側に入り込み動脈硬化を促進するので、悪玉コレステロールと呼ばれます。一方、HDLというリポ蛋白に含まれたものは、HDLが全身の余分なコレステロールを回収して肝臓に戻し胆汁酸として排泄させるので善玉コレステロールと言われます。HDLは運動で増えます。

食事でとった糖質や脂質は、体を動かすエネルギー源や体をつくる材料として使われますが、余った分は肝臓で中性脂肪に作り変えられ、VLDLというリポ蛋白に含まれて血液中に放出されます。

また、食事性に腸管で吸収された脂質は、小腸上皮細胞でカイロミクロンというリポ蛋白に作り変えられて血液中に放出され、この中には中性脂肪がたくさん含まれています。

中性脂肪が増えると、LDLが小型化し、HDLが減るため動脈硬化が進行しやすくなります。

魚油のEPA（エイコサペンタエン酸）やDHA（ドコサヘキサエン酸）などのn-3系多価不飽和脂肪酸は中性脂肪を下げます。



「防災の日」に寄せて」

防火管理者 堀井 由高

9月1日は、1923年の関東大震災を教訓に制定された防災の日です。今年の元旦には、最大震度7、死者300名を超える大被害をもたらした能登半島地震が発生し、未だに2千名以上が避難生活を余儀なくされ、インフラ復興にも長期間を要する見込みです。滋賀県は比較的災害の少ない県と言われていますが、多くの活断層の存在や南海トラフ巨大地震のリスクを決して忘れてはなりません。

地震・火事・台風・雪害等々、様々な自然災害に対応する事は容易ではなく、米原市伊吹の土砂災害などは記憶に新しく、また当院でも2013年9月15日台風18号で旧・新館1階（当時在宅サービス部門が入居）が20cmの床上浸水に見舞われ、夜を徹して復旧作業に奔走した事が思い出されます。

我々病院では、入院患者をはじめとする患者様やご家族・病院関係者の人命確保を目的として法令に基づく年2回の災害・避難訓練を実施しています。更に病院は災害発生時には外部からの怪我人受け入れや地域の避難所の役割を担う事も想定されます。大規模災害を想定した事業継続（BCP）計画も策定し、資材・薬品・食材の備蓄量も定めています。

いざという時に自分は何をすべき役割なのか、今一度確認し落ち着いて冷静に行動できる様心掛けましょう。



「ワークステーションヴォーリス」でジャガイモ掘り

7月4日「就労移行支援事業所 ワークステーション ヴォーリスワークステーション」の利用者さんが施設外訓練の一つとして、ジャガイモ掘りを行いました。



「ボランティアさん」

ボランティア委員長 中野 さつき

当院のボランティアは30年余りの歴史があります。ヴォーリス精神「医療、保健、福祉の里」を基本理念として感謝と奉仕に努める当院にとって、患者さんと病院を結ぶ大切な架け橋となり、かけがえのない役割を果たして頂いています。

以前からボランティアさんとお出会いする場面が多くあり、常にボランティアさんは不安を抱えた患者さんに優しく声掛けされ、接する礼儀の素晴らしさは見ているだけで穏やかな気持ちになる瞬間がこれまでも沢山ありました。園芸活動や、外来案内、病棟のティーサービス、お話相手、ホスピス病棟で季節のお花を生けたり、音楽鑑賞、お菓子作り、環境(ミシン縫製、タオルのたたみ物)等、各グループに分かれて活動されていました。

しかし2020年の新型コロナウイルス感染症の流行、そして2022年11月の病院移転も重なり、その活動は止まってしまいました。40名程おられたボランティアさんも現在は22名です。

昨年からはボランティアさんと病院(院長、事務長、ボランティア委員)と意見を交わしながら、園芸ボランティアを再開、外来案内、病棟ティーサービスと少しずつですが前に進んでいます。

ボランティアの皆さんは、患者さんと病院にとって温かみと活力を与えて頂ける大切な存在です。引き続きチーム医療の一員として地域における役割を、職員と一緒に果たして行きたいと考えています。



管理栄養士ようちゃん
おススメ!

炭酸飲料にトロミを付ける方法をご紹介します♪

当院の入院患者様には疾患や加齢に伴って「噛めない」、「飲み込めない」という状態の方が多くおられます。しかしながら、「口から食べる楽しみが欲しい!!」というのが患者さんの切実な願いではないでしょうか? 今回はこのような患者様に「安全性を保ちながら何か楽しく食べられる物を出せないか?」と当院で取り組んだ「炭酸飲料にとろみを付ける」方法をご紹介します。

炭酸飲料にとろみを付けるのは難しい...



ゼラチンや片栗粉を使うと...
加熱で炭酸が抜けてしまう



とろみ剤なら加熱不要!!
...ですが添加すると発泡して炭酸が抜ける欠点!!

炭酸飲料に添加しても発泡しない「とろみ剤」がありました!!

つるりんこ シュワシュワ を加えて、振るだけ!(使用方法)

- 1 つるりんこ を加える
- 2 逆さまにした状態で振る
- 3 冷蔵庫で冷やす
- 4 とろみがつく



とろみをつきたい炭酸飲料を開栓し、本品を一気に加えます。



すぐにキャップを閉め、逆さまにした状態で30秒程度、素早く強く振り続けてください。



そのまま3時間程度冷却します。



コップなどに出し、とろみの状態を確認してからお召し上がりください。

添加量の目安

- 350mlの炭酸飲料に本品1本を加えてください。

使用上のポイント

- よく振って、しっかりと冷却することで炭酸感のあるとろみがつきます。
- 本品を一気に加えて、素早く振り始めてください。
- 振りが強い場合、振り始めが遅い場合はグマが生じやすくなります。
- 溶かしにくい場合は、50ml程度炭酸飲料を抜いてから本品を加えてください。



ペットボトルに入れて振るだけで簡単にとろみ付きの炭酸飲料ができます。強めにとろみをつけてジュレのように食べるのもオススメです。



つるりんこ
シュワシュワ



医師紹介

リハビリテーション病棟 担当医 西野 智至 (にしの さとし)

【経歴】 平27年 滋賀医科大学医学部 卒業
 【専門分野】 リハビリテーション科
 整形外科
 日本整形外科学会専門医
 【所属学会】 日本リハビリテーション医学会
 日本整形外科学会



今年度4月よりリハビリテーション科医師として赴任いたしました西野 智至 (にしの さとし) と申します。もともとは整形外科医として主に骨折の治療を行っておりました。一度骨折が発生すると次の骨折が発生するリスクが高くなり、骨折を繰り返してしまう骨折の連鎖を防ぐべく、現在はリハビリテーション科医として回復期リハビリテーション病棟にて、主に骨折や脳卒中の発症後早期の患者様に対して、多職種でのチーム医療、リハビリテーションを行っております。

地域のみなさまが住み慣れた地域において継続して生活できるよう、リハビリテーションの立場から支援し、地域医療に貢献できるよう精進してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

シリーズ「放射線科だより」

診療放射線技師 峯田 貴恭子

今月号は、「CT検査」を紹介します。

CT検査は、身体の周りからX線をあて、体を通過したX線情報をコンピューターで解析し、連続した輪切りの画像を撮影する検査です。連続した画像から3D画像（立体的な写真）や体を縦切りにした画像（矢状断・冠状断）をつくる事もできます。

検査はベッドの上にあおむけになった姿勢で行います。検査の際はベッドが自動で動き、トンネル状の装置の中に入ります。

一般的なレントゲン撮影ではわからないような体内の詳しい情報を得られることが特徴で、脳や肺、腹部、骨の検査に特化しています。検査の目的によっては、静脈から注射する造影剤を使用する場合があります。

当院のCT装置の特長は、患者様の体格や検査内容に合わせて、照射するX線量を適正に変化させて、患者様の被ばく線量の低減や、造影剤の使用量を低減し、患者さまの体への負担を軽減しより安心安全な検査を提供しています。

当院「健診センター」では、低い被ばく線量で「肺がん検診CT検査」をおこなっています。胸部レントゲン写真では見つけにくい場所でもCT検査では確認し発見することができます。

お気軽に当院「健診センター」へお問い合わせください。

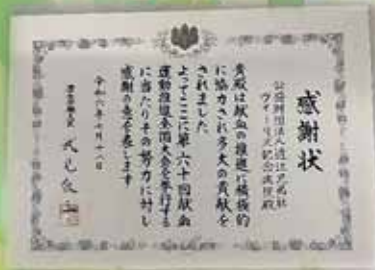


中高生看護体験を実施致しました！

8月1日、2日、中高生看護体験を実施致しました。両日とも一般病棟2名、回復期リハビリ病棟4名、医療療養病棟2名の方に体験して頂きました。とても新鮮なご意見を頂くことができました。



病院からの お知らせ



「令和6年度 滋賀県献血功労者表彰式」にて 厚生労働大臣感謝状を頂きました！

この表彰式は、血液事業の推進に積極的に貢献した団体、個人に感謝するとともに、更なる献血の普及・啓発を図ることを目的として開催されているものです。

当院では、滋賀県赤十字献血センターと協力し年に2回、献血活動を実施致しております。

多くの方々に協力して頂いたおかげで、今回このような素晴らしい賞を頂くことができ、ありがとうございました。

今後も社会貢献の一環として、献血への協力を行ってまいります。



当院 呼吸器外科 北野 晴久医師

「日本褥瘡学会在宅ケア推進協会学術集会」にて 優秀演題賞を受賞！

日本褥瘡学会在宅ケア推進協会学術集会において、「褥瘡処置は週3回でも効果は変わらない：炎症/感染が落ち着いている仙骨部D3褥瘡における検証」という演題が優秀演題賞を受賞しました。

従来、褥瘡の処置は毎日行うことが一般的でしたが、本研究は、炎症や感染が落ち着いている褥瘡においては、週3回の処置でも治療効果に差がないことを実証しました。これは、特に在宅ケアにおいて、医療従事者の負担軽減につながるだけでなく、今後予想される労働人口の減少に対応を考慮すれば、今後の医療現場における労働力不足や業務効率化に貢献することを期待します。

<略歴>

2000年 滋賀医科大学医学部 卒業

2010年 滋賀医科大学大学院 修了

<学会・認定など>

- ・日本外科学会外科専門医
- ・日本褥瘡学会在宅ケア推進協会評議員
- ・日本褥瘡学会 認定褥瘡医師



写真：（左）筆者、（右）田中秀子学会長

地域療養支援部

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします！

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院、開業医の皆様からの受診、入院依頼

※総合受付の並びの4番相談窓口まで、お気軽にご相談ください。

TEL (0748) 32-5221 (直) / FAX (0748) 36-5412 (直)

〒523-0805 滋賀県近江八幡市円山町927-1

電話 : 0570-01-5211

FAX : 0748-32-2152 (代表)

*シャトルバス（無料送迎）あります。

●編集後記●

今年の猛暑の夏、パリオリンピック開催で、選手や選手を支える周りの方々の姿から、沢山の感動、勇気、元気を頂きました。患者さん、患者さんを支える方々の日々や姿も、オリンピックに関わる皆さんと同じだなと思えた夏でした。

【編集・発行】 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院 企画渉外課

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院